

起動されていたジョブネットワークは全てキャンセルされ、異常終了情報ファイル(トムファイル)にCANCELのステータスにて情報が格納されます。
したがって、モニタをwarmスタート後、異常終了情報ファイル(トムファイル)をコマンド'toml'にて参照し、リランタイプでの再起動等のリカバリを実施してください。

異常終了情報ファイル(トムファイル)を参照するコマンド
toml

```
***** NETWORK TOM LIST *****                OPERATION DATE : 00/10/24
SDATE NETWORK  JOBNAME  JB# T ST RC START          END-T REASON
001024 XMAD02   XMAD0201 010 N 84 04 000000/000000 000000 JOB CANCELED   実行中にダウンしたためCANCELされたジョブ
                                XMAD0202 020 N 00 00 000000/000000 000000 JOB WAS NOT EXECUTE 実行されなかった後続ジョブ
001024 XMKH03   XMKH0301 010 N 80 00 001024/190429 190450 JOB TERMINATED 正常終了したジョブ
                                XMKH0304 020 N 84 04 000000/000000 000000 JOB CANCELED   実行中にダウンしたためCANCELされたジョブ
                                XMKH0305 030 N 00 00 000000/000000 000000 JOB WAS NOT EXECUTE 実行されなかった後続ジョブ
***** END OF PRINT *****
```

異常終了したジョブネットワークの終了状況の確認を個別に行っていただき、以下の対処方法にて対処をお願いします。

- 前回起動していたJOBからリカバリー
 - 業務監視画面からスタートコマンドを発行
 - コマンド(cip sネットワーク名)
- 前回起動していたJOBの次からリカバリー
 - 業務監視画面からJOB指定でスタートコマンドを発行
 - コマンド(cip sネットワーク名,f=ジョブ名)
- リカバリーせず、スキップさせる
 - 業務監視画面からトムクリアフリーオンコマンドを発行
 - コマンド(cip tネットワーク名,c,free=y)
- 正常終了扱いにし、先頭JOBから再実行
 - 業務監視画面からトムクリア後 スタートコマンドを発行
 - コマンド(cip tネットワーク名,c)
 - コマンド(cip sネットワーク名)